# 委 員 会 会 議 録

（社）滋賀県トラック協会

| | |
|---|---|
| 会 議 名 | 平成２３年度（第６回）環境対策委員会 |
| 開催日時 | 平成２４年２月６日（月）　１４：３０～１６：５０ |
| 開催場所 | 滋賀県トラック総合会館　３Ｆ「研修室（１）」 |
| 出 席 者 | 委員１１名、事務局２名 |

協　　議　　内　　容

定刻に開会。開会にあたり伊地智担当副会長から挨拶が行われた。

続いて専門委員会規程に基づき正副委員長の選出方法について伊地智担当副会長から説明された。本件について出席委員より選出方法について意見等発言がなかったことから、その選出提案として、委員長：坂口氏、副委員長：河井氏・嶋本氏の２名を選出したい旨説明され、出席委員へ確認したところ、出席委員から異議なく承認された。

また各氏ともその就任を了承し、挨拶が行われた。

引き続き、出席委員各位より簡単な自己紹介が行われた後、坂口委員長が議長となり議題協議に入った。

議　　題

（１）　事業実施状況について

資料に基づき事務局から説明が行われた。

①各種助成制度の実施状況について

・低公害車に対する助成は、対予算で順調に推移している。

・ＥＭＳ・ドラレコ助成は、全日本トラック協会助成分の枠を超えてしまったので、追加助成枠申請を行っているところである。１２月の正副会長会議（執行部会議）にて提案及び承認されているが、全日本トラック協会枠を超えてしまった申請分も同協会分１万円を減額せず、１台あたり３万円として助成拠出する方向性である。

・３月に全日本トラック協会の助成金説明会が開催され、その際に平成２４年度助成の詳細説明が行われるが、ドライブレコーダーは現在、ＥＭＳ機器（デジタコ）と同品目として助成されているが、安全装置（被害軽減Ｂ・バックアイカメラ）と同品目とされる可能性がある。この場合、安全対策品目となり、環境対策の予算から安全対策予算へ移行させて予算校正する必要がある。

・他の助成は予算に対して低調な進捗具合である。各助成の申請期間は２月末までであるので、忘れ・遅れのないよう、各支部にてＰＲを行って頂きたい。

・エコタイヤに関して、前任の環境対策委員会にてリトレット（再生タイヤ）の助成対象検討を行う提案が出されていた。今後、検討頂きたい。また、エコタイヤは新車導入時に装着している場合（スペアタイヤ含）もその助成対象となる。

②エコドライブ研修会（全支部）

・全支部を対象とし、大型１３名、中型９名の参加にて実施された。

・本研修会は午前中に通常走行を行い、その後、エコドライブのコツを座学で学習する。午後、午前中の研修内容を踏まえた走行を行い、通常走行との差を数値で確認するという内容である。実際に数値で目に見える形で情報提供されることから、非常にわかりやすい研修会である。

③滋賀県エコドライブ指導者等講習会

・１２月１３日に県庁にて滋賀県温暖化対策・自動車運輸部門会議が主催するエコドライブ研修会が開催された。ト協としても同会議に参画しており、当日は運輸部門で約２０名の参加があった。また、この会議は座学のみの会議であるが、次年度の計画として実走も踏まえた研修会となる可能性もある。

・本研修会は、１１月のお知らせに載せ、参加者募集を行った。

ここで、約５分間の休憩を挟んだ後、視聴覚室にて「エコプロジェクトの取り組み」が（株）アスアより説明が行われた。

・東京都トラック協会で実施されている事業で、国内（環境省）はもとより、海外からも注目されている事業である。

・具体的には、各社各車両の燃費データを記録し、大きな統計の中でそのデータ活用し、低燃費運転への指導や、環境負荷係数の拠出及び低減量の明示化、エコドライブに伴う副産物としての安全教育・経営認証制度への対応を１社ではなく、事業参加した事業者全体でまとまって実施していく事業である。

「エコプロジェクト」の説明が終了し、会議場へ戻った後、委員会協議が再開された。

伊地智担当副会長より、今までエコドライブ研修会やエコドライブコンテストを実施してきたが、受講した（参加した）ドライバー諸君が毎日の乗務に活かせているかが問題であり、先ほど説明された「エコプロジェクト」はその結果を数値化して目に見えてわかる事業である。

今後、詳細な見積もりを取り、次回委員会にて実施可否の検討を行いたい旨、説明された。

（２） 平成２４年度事業計画・予算（案）について

①事務局より事業計画の原案が説明された。

・低公害車助成は例年通り実施。ＣＮＧ・ＨＶトラックは全ト協と協調助成。ポスト新長期規制車は滋ト協独自実施。助成上限は、台数制限から金額制限へ。

・エコタイヤ助成は例年通り実施。実績を鑑み、予算規模を縮減する。

・ＥＭＳドラレコ助成は例年通り全ト協と協調助成として実施するが、ドラレコは安全装置の範囲に含まれて助成される可能性があり、３月の全ト協説明会にて判明する。その場合、予算及び助成要綱の改変が必要。

・新規助成制度として、「グリーン経営」認証取得及び更新に対する助成を設ける。認証取得・継続とも、１案件５０,０００円の助成。
・他の助成制度は例年通り実施。
・アイドリングストップ啓発活動は次年度より実施しないが、外部向け啓発グッズは作成する。
・滋賀県環境会議関係や近畿黒煙ゼロ協議会関係や近ト協環境キャンペーン、エコドライブ研修会の予算は例年通り。

伊地智担当副会長より、
景気が悪い現状を踏まえて、少しでも会員事業者の補助になれれば、という岡田会長の意向を反映した予算となっており、執行部での決定であるので、本委員会ではその方針説明と事業実施要請を行う程度として聞いて頂きたい旨、説明された。
また、エコプロジェクト実施の是非とエコドラブ研修会の実施回数は次回の本委員会で協議して頂きたい。

委員より、
・ドライブレコーダーは全ト協でも力を入れて普及にあたっている機器であり、助成金額のアップを望む。
・助成金の非課税化ができないものか。
・低公害車助成における車両助成金額のアップはできないものか。
以上の意見が出され、執行部へ平成２４年助成制度設計の際の委員会意見として伝えられることとなった。

②平成２４年度助成事業にかかるアンケート実施結果について
時間の関係から、その結果については、各自にて資料参照となった。

③４次補正予算にかかるエコカー補助について
・国の第４次補正予算案にエコカー減税として、平成２７年度燃費基準達成車に対して、大型車９０万・中型車４０万・小型車２０万（事業車両）の補助が出る。予算規模は２１６億円であり、昨年の１２月２０日以降に登録された車両が対象となる。本法案はすでに衆院を通過しており、８日には参院本会議にて決議される見込みである。その後詳細な手続き方法が通知されるが、自販連経由での申請となると思われる。

（３）その他
なし

以上で議事が終了し、次回委員会開催日を決め、閉会。

■次回委員会

日　時　　平成２４年3月２１日（金）　１４：００～

場　所　　滋賀県トラック総合会館